J.B.HAROLD

BLUE CHICAGO BLUES

ブルー・シカゴ・ブルース

事件解決への道しるべ

J.B.ハロルドシリーズ、

1986年に、第1弾『殺人倶楽部』が発売されたJ.B.ハロルドシリーズ。その後、1987年に第2弾『マッハッタン・レクイエム』、第3弾『殺意の接吻』、1989年に第4弾の『D.Cコネクション』がリリースされていった。このシリーズは、プレーヤーがJ.B.ハロルドという刑事になり、街で発生した様々な事件を解決していくというアドベンチャーで、捜査を進めて最終的には事件の真相を突きとめるというものだ。どのシナリオもドラマチックなストーリー展開で、登場人物たちが織り成す悲哀劇は、プレーヤーの心に強い印象を残したに違いない。そして、それから6年。J.B.ハロルドという名が影を薄めつつある1995年、彼は再び姿を現わした。今だから可能になったビジュアル表現を、最大限に生かしたこの『ブルー・シカゴ・ブルース』。新たなる感動がキミを待っているぞ。

その事件はシカゴで起こった…

11月8日

この『ブルー・シカゴ・ブルース(以下『B.C.B.』)』は、これまでのJ.B.ハロルドシリーズとはまったく異なった作品となっている。というのも、シリーズ第4弾が発売されたときから6年の時が流れており、その間、パソコンは飛躍的進化を遂げているわけだ。ゆえに、時代のニーズに応えられるようなものを、ということで、なんと全編実写映像が使われている。しかもハリウッド俳優を起用して、実際にシカゴで撮影を行なったというんだから、制作サイドの意気込みが並ではないことがうかがえる。では、その『B.C.B.』のストーリーを、これから解説していこう。

その女性は、これから恋人にでも会うのだろうか。化粧をし、赤いドレスを身にまとい、鏡の前で何度も何度も姿を確認していた。このとき彼女は、まさか自分が殺されることになるとは思いもよらなかっただろう。背後から振り下ろされたダガー・ナイフは、彼女の体に深く深く突き刺さった……。

翌朝、ミシガン湖に突き出たノーザン・アイランドにあるプラネタリウムの前で、赤いドレスを着た若い女性の遺体が発見された。被害者の名はアンジー・ハート。死因は、背部と腹部に受けた鋭利な刃物による刺傷と、胸部に撃ち込まれた一発の銃弾。しかし、事件はこれだけにとどまらなかった。

被害者はアンジー・ハート

⬅第一の被害者は、シカゴ在住の高校生。

凶器は刃物と断定

➡アンジー・ハートは、鋭利な刃物によって背部と腹部を刺されて殺害された。このナイフを振り上げているのはいったい誰なのか？　本当にキャサリン・ホワイトなのだろうか？

⬅遺体の発見場所はプラネタリウムの前。殺害後に運んだと思われる。

遺体はプラネタリウムで発見された

➡アンジー・ハート殺害事件は、その日のうちに新聞で報道された。「赤いドレスの女性、殺害される」。このドレスが、はたして捜査のポイントになるのだろうか。

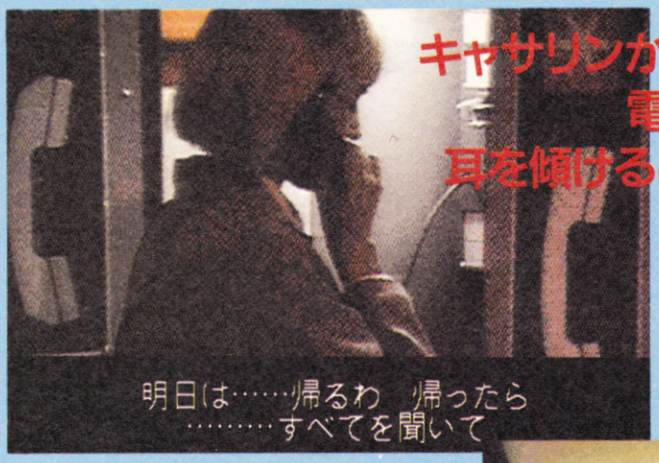
ついに復活!!

11月9日

リバティタウン警察で、J.B.ハロルドの同僚であり、また恋人でもあるキャサリン・ホワイト刑事。彼女は休暇をとり、シカゴに滞在していた。アンジー・ハートの遺体が発見された11月9日には、J.Bあてに電話を入れ、11月10日にはリバティタウンに戻る予定だというメッセージを留守番電話に残す。しかしその夜に、彼女もまた何者かによって……。

翌日、アンジー・ハートの遺体が発見されたのと同じアドラー天文台の前で、キャサリン・ホワイトの遺体が発見された。死因は胸部に受けた銃弾だ。しかし、彼女の手にはしっかりと拳銃が握られており、それはあたかも自殺したかのような状況だった。さらには、荷物の中からアンジー・ハート殺害の凶器と思われるダガー・ナイフと、コカインが発見される。アンジー・ハート殺害後に、キャサリン・ホワイトは自殺したかのようだが、この事件には、いくつもの不可解な点が残された。

キャサリンからの電話に耳を傾けるJ.B



⬅J.Bに電話を入れるキャサリン。留守番電話に、明日には帰るというメッセージを残し、この世を去る。

➡留守番電話のメッセージを聞くJ.B.ハロルド。

しかしその夜、彼女も……

⬅一発の銃弾が、何人もの人生を狂わせることもある。犯人は誰なのか。

➡殺害されたキャサリン・ホワイト。ひとり残されたJ.Bは何を思う……。

何者かによって犯人にされたキャサリン

⬆➡キャサリン・ホワイトは、殺害されたあと何者かの手によって拳銃を握らされる。まるで自殺したかのように見せてはいるが、犯人の目的はいったい？

CHICAGO DAILY SENTINEL

MOTIVE UNKNOWN!

Female Detective Shoots Herself?

Congress Urged to Give Aid to Rapid Transit

Wholesale

⬅➡彼女の荷物からは、コカインと、アンジー・ハートを殺害した凶器と思われるダガー・ナイフが出てきた。アンジーを殺したのはキャサリンなのか!?

はたしてJ.Bはこの事件を解決できるのか!?

『B.C.B.』のゲームシステム

この『B.C.B.』は、プレーヤーがリバティタウン警察の殺人課に所属する刑事、J.B.ハロルドとなって、シカゴで起きた女子高生殺人事件(実際は、この事件に巻き込まれて殺害されたハロルドの恋人、キャサリン・ホワイトの死の謎を追うことも含まれる)を捜査する推理型のアドベンチャーゲームである。

ただ、これまでのJ.B.ハロルドシリーズと『B.C.B.』では、システム的に明きらかに異なる部分がひとつある。それは、従来のシリーズがコマンド選択式のアドベンチャーで、とりあえずコマンドの総当たりをしていれば、どんな人でもゲームを解けたのに対して、『B.C.B.』ではハロルドに課せられた捜査期間が、たった4日間に限定されている点がそうなのだ(ゲーム中では、11月10日の夜から14日まで)。

これだけでは、ちょっとわかりづらいかもしれないので、もう少し詳しく説明すると、このゲームではシカゴの各所で捜査をする場合、その捜査に要したぶんだけ時間がドンドン経過するようになっているのである。ゆえに、従来のシリーズのようなつもりで捜査をしていると、すぐにゲームオーバーになってしまう。

捜査に関することで、もうひとつ注意すべきことがあるので説明しておくと、このゲームでは必要な日時までに必要な情報が得られなかった場合にも、ゲームオーバーになるようになっているのだ。もしも捜査をしているときに、メッセージから次の展開につながりそうだと思われるようなときは、その線を徹底的に洗う(調べる)ようにしよう。

あと、細かいところでは、相棒のテッド・ロッセンとは午後6時までしか一緒に行動できないとか、酒場には夜しかいけないなどと時間的な束縛もあるので、この部分にも注意を払うようにしてほしい。そのほか、捜査の1日の流れについては、次のページに図式化してまとめてあるので、ひとつそちらを参照していただきたい。

『B.C.B.』ここだけは知っておいてもらいたい

今回が、5作目となる『B.C.B.』。シリーズ前作の『D.C.コネクション』が1989年の発売となるから、実に6年ぶりの登場となるわけだ。2作目になる『マンハッタン・レクイエム』のときから行なってきたアメリカでの現地ロケは、もちろんこの『B.C.B.』でも行なわれている。今回は、10周年目にあたる作品とあってか、そのロケも実に手が込んだものとなっている。

まずはここにならべた写真に注目してほしい。実はコレ、ゲームの制作のためにハリウッドの俳優、撮影スタッフを使って映像撮りをしているところなのだ。つまり、このゲームを作るにあたってリバーヒルソフトでは、まず現地で実際の映画作りさながらの作業を行ない、しかるのちに、その映像をウィンドウズ版やマッキントッシュ版、レーザーアクティブ版で使用しているのである。

ちなみに、ゲーム中で使われているオープニングや主要イベントシーンなどの映像時間は、トータルで4時間にもなるというのだ。ゲームにリアリティーと迫力を生み出すために、ここまで制作にこだわったリバーヒルソフトの執念は、まさにすごいのひと言。

➡撮影の打ち合わせをするスタッフ。ゲームにあわせて、同じシーンでさまざまな展開を撮影しているのだ。

⬆ハリウッド郊外の撮影スタジオに作られた舞台。ここで『B.C.B.』の制作は行なわれたのだ。

⬆撮影スケジュール用のコンテ。このゲームの撮影には2ヵ月半の時間(ロケ)がかかっている。

1日の捜査の流れ

わずか4日しか捜査期間がないので、効率よく捜査を行なうのが重要だ。ちなみにゲームでの1日の流れは、だいたいこうなっている。

シカゴ市警

➡1日の捜査はシカゴ市警から始まる。ここでその日にやることや、前日の考えなどをまとめることになるのだ。

移動

⬅捜査すべきことが決まったら、お次は行動。捜査が進んでくると、行ける場所は最大で18地点にまで増えるのだ。

聞き込み

⬆捜査の基本は情報収集。そのためには聞き込みをしよう。アンジー・ハートやキャサリン・ホワイトの周囲を調べ、事件の全貌をつなげよう。

捜査

⬆捜査といっても、こちらは家宅捜査のこと。事件の起きた現場には、必ず事件解決のための証拠が存在するはず。確実にそれをつかむのだ。

イベント

⬆ハロルドが捜査にきたことによって、事件関係者の周囲に動きが起こる。その動きはイベントとしてプレーヤーに伝えられることになる。

シカゴ市警

➡ひと通り現場をまわったら、シカゴ市警に戻ろう。デッド・ロッセンとは、午後6時までしか一緒に行動できないぞ。

バー・アゲイン

⬅ここには夜しか入ることができないが、いろいろな人物が現われるだけに、様々な情報を入手することができる。

シカゴ市警鑑識課

➡捜査の過程で発見した証拠品などがあれば、鑑識課にまわそう。次の日には、それが何かが明らかになるはずだ。

ホテル・シカゴ

⬅1日が終わりホテルに戻ると、たまに電話がかかってくることがある。このとき得られる情報は重要なものが多い。

さらに翌日に続く

"アンジー・ハート殺害事件"関係者

今回、シカゴで起きた"アンジー・ハート殺害事件"には、容疑者、被害者を含めて29名の人間が絡んでくる。この数字の中には、ゲームの主人公であるJ.B.ハロルド（プレーヤー）自身も含まれているから、実質的な関係者というのは28名ということになるが。

さて、ここで大きな問題となるのが、アンジー・ハート殺害事件に関する事件の捜査日数だ。前のシステム紹介のページでも触れたが、今回の事件を捜査するためにハロルドに与えられた時間は、わずか4日間しかないのである。したがって、この28名のすべての状況証拠を集めていては、あっという間に捜査期間などなくなってしまうのだ。

ゆえに、今回のように人間関係が複雑多岐となる事件を捜査する場合には、容疑者を絞るという行為が絶対に必要となってくる。まだゲーム自体が発売されていないので、あまり込み入ったことを話すことはできないが、とりあえず現段階では、アンジー・ハート殺害事件の最重要関係者として、以下に12人の名前を挙げておこう。

この12人の中に、主人公の名前が挙がっている点は愛敬として受けとっていただきたいが、すでに殺害されたアンジー・ハートやキャサリン・ホワイト、また、ハロルドの相棒であるテッド・ロッセンらの名が挙がっているのは、彼らの過去も事件に深く絡んでいることを意味している。このへんは、頭にたたき込んでおくように。

J.B.ハロルド

●年齢：32歳　●性別：男
●性格：寡黙、忍耐強い

主人公。リバティタウン警察の殺人課に勤務する刑事。シカゴで殺害されたキャサリン（同僚）の死の謎を解明するために、今回、シカゴにきた。

キャサリン・ホワイト

●年齢：25歳　●性別：女
●性格：明朗活発、純粋

シカゴで射殺された女刑事。アンジー・ハート殺害の凶器と、大量のコカインを荷物の中から発見されたため、アンジー殺害の容疑をかけられる。

アンジー・ハート

●年齢：17歳　●性別：女
●性格：孤独を好む

今回の事件の被害者。セントサウス・ハイスクールに通う高校生で、殺害されたときに、"ブライアン・リッチ"デザインの赤いドレスを着ていた。

テッド・ロッセン

●年齢：30歳　●性別：男
●性格：思い込みが激しい

シカゴ市警殺人課の刑事。ハロルドと組んで、アンジーとキャサリンが殺害された謎を追う。過去に麻薬調査班に所属していた経歴の持ち主。

ジェームズ・ハート

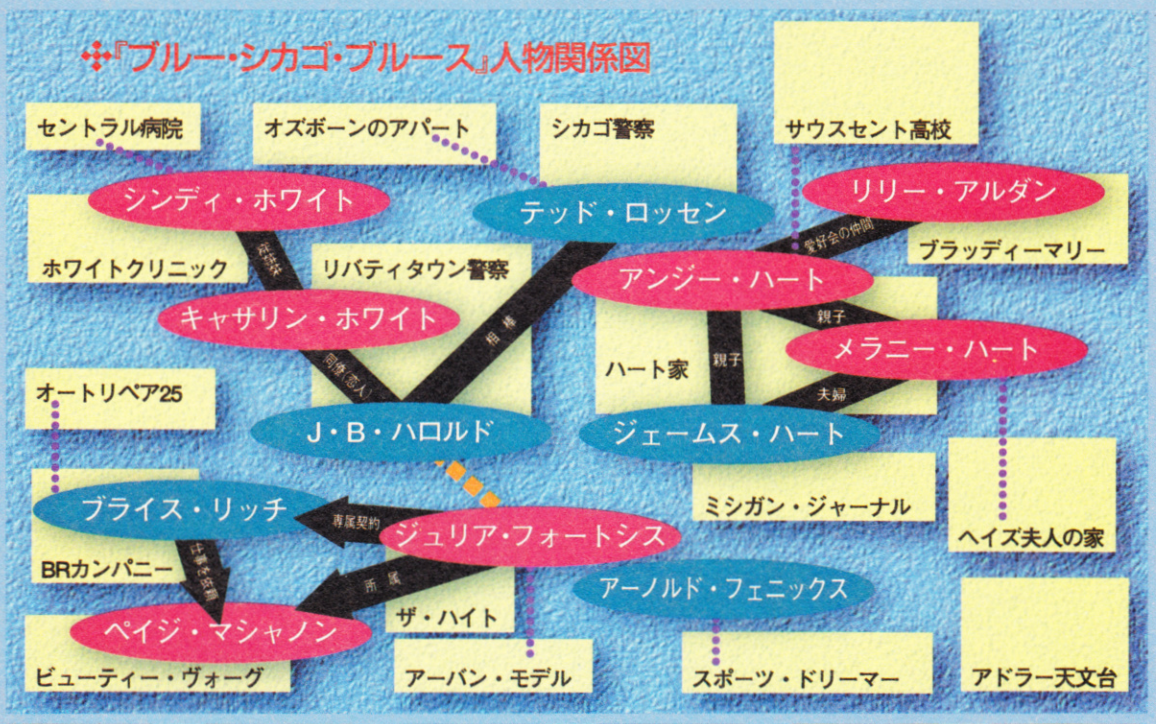
●年齢：44歳　●性別：男
●性格：猜疑心が強い

アンジーの父親で、地元経済紙"ミシガン・エコノミー"の経理部長。アンジーの殺害に使われた凶器は、実は彼の所有していたナイフであった。

メラニー・ハート

●年齢：37歳　●性別：女
●性格：やや警戒心が強い

アンジーの母親。アンジーの遺体を確認した際に、ショックのあまり警察署で倒れる。ジェームズとの結婚には、過去に深いいきさつがあった。



シンディ・ホワイト

●年齢:30歳　●性別:女
●性格:探求心にあふれる

キャサリンの従姉妹で、クリニックを開業する精神科医。キャサリンがハロルドからプロポーズをされたことで、相談を受けたことがあった。

ブライス・リッチ

●年齢:38歳　●性別:男
●性格:自己中心的

デザイナーズ・ブランド"BRカンパニー"の社長。事件当日、彼がアンジーと会っていたという情報があるが、本人はこの件を固く否定している。

ジュリア・フォートシス

●年齢:28歳　●性別:女
●性格:繊細だが鈍感

モデルクラブ"ビューティー・ヴォーグ"の人気モデル。三流モデルから、トップモデルにまで昇りつめた。ブライス・リッチとの関係が噂される。

ペイジ・マシャノン

●年齢:48歳　●性別:女
●性格:常識的、社交的

"ビューティー・ヴォーグ"の副社長。雑誌に載っていたアンジーの写真を見て、スカウトの声をかけていた。社交的で誰にでも好かれるタイプ。

アーノルド・フェニックス

●年齢:27歳　●性別:男
●性格:ギャンブル好き

フリーのカメラマン。もとはプロバスケットの選手だが、足を痛めたために引退。現在は、ブライス・リッチのスキャンダルを追いかけている。

リリー・アルダン

●年齢:30歳　●性別:女
●性格:オカルトを好む

アンジーが通っていた小説マニアの愛好会、"ブラッディー・マリー"の主催者。アンジーを20年前に殺された小説家の生まれ変わりと信じていた。

11月10日

キャサリン・ホワイトの死は、すぐにリバティタウンの警察にも伝わってきた。キャサリンがアンジーを殺し、その後自殺したのではないか、というウワサと共に……。

J.B.ハロルドは、リバティタウン警察からの派遣で、その日のうちにシカゴへと飛ぶ。そして、空港からまっすぐシカゴ市警へ。シカゴ市警で待っていたのは、この事件の担当刑事テッド・ロッセンであった。彼は粗野ではみ出しものだが、どこか憎めない男。J.B.ハロルドは、彼と共に連続殺人事件の真犯人を挙げるため、捜査を開始する。与えられた時間は4日間だ。

J.B.ハロルド、シカゴに到着

⬆⬅同僚キャサリン・ホワイトの死を知り、シカゴに駆けつけたJ.B.ハロルド。アンジー・ハート殺害事件と、キャサリン・ホワイトの死はどのように関係しているのか。

J.Bの相棒 テッド・ロッセン

⬅⬇捜査の協力を仰ぐため、シカゴ市警へと向かったJ.B。そこには、髭面のテッド・ロッセンが待っていた。現場の状況からは、キャサリン・ホワイトがアンジー・ハートを殺害したあとに自殺したと考えられるが、どうやらテッドはそれに疑いを持っている。彼となら、事件の真犯人を見つけ出すことができるかもしれないぞ。

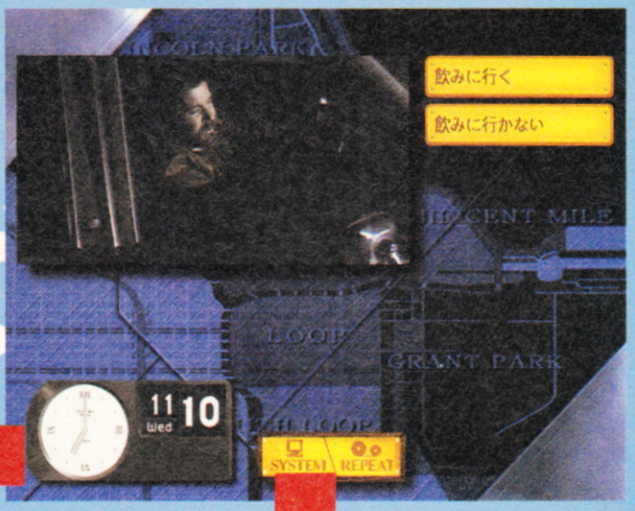
J.B.ハロルドは、アンジー・ハート、キャサリン・ホワイト連続殺人を解決するためにシカゴへやってきた。このままではキャサリン・ホワイトが犯人だったということで事件が解決してしまう。なんとしてでも彼女の汚名を晴らすのだ。

捜査開始の前夜

11月10日の夜、ロッセンは近づきのシルシにJ.Bを酒に誘う。さあ、ここからがゲームのスタートだ。

右の画面のように、飲みに行くか、行かないかという選択肢が出てくるので、自分の好きなほうを選ぶとよい。といっても、どちらを選んだかによって、のちのちの行動になんらかの影響が出てくるようになっているので、よ～く考えた上で実行してもらいたい。ここでは、飲みに行った場合と、行かなかった場合とではどうなるかを簡単に紹介しておく。結果から見ると、飲みに行ったほうがよいことがわかるね。

➡相棒のテッドと飲みに行くところから、ゲームはスタートする。べつに飲みに行かなくてもゲームは進むが、テッドは捜査に非協力的になってしまい、途中で息詰まる結果に……。この先の判断はキミに委ねるぞ。



飲みに行くと

➡バー・アゲインに入ったJ.Bとテッド。身の上話に花が咲く。

⬅話が盛り上がり(?)、飲み比べをけしかけられたJ.B。ここはつきあったほうがよいぞ。

➡見事に飲み勝ったJ.B。これでテッドは協力的になり、捜査も楽になるぞ。

飲みに行かないと

⬆飲みに行かない場合は、ホテルに直行。テッドは別れ際に不服そうな顔を見せる。まずかったかな？

⬆ホテルの部屋に戻ると、電話が鳴り響いた。躊躇しながらも受話器をとってみると……。怪しげなことに無言電話だった。う～む。

⬅飲み終えてホテルに戻ると、キャサリンの従姉から電話がかかってくるぞ。

いよいよ捜査開始!

本格的な捜査が開始されるのは、11月11日からだ。恋人であるキャサリンの死を悲しむ前に、なんとしてでも真犯人を見つけ出し、彼女の汚名を晴らしてやらなければならないぞ。

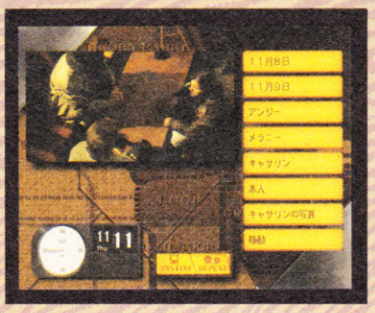
さて、捜査はシカゴ市警から始まるわけだが、この時点で、早くも昨夜のJ.Bの行動が影響してくる。ラッセンと酒を飲み、飲み比べに勝った場合は午前8時から行動できるのだが、一緒に酒を飲まなかった場合は、ラッセンが寝坊をして午前10時からの行動になってしまうのだ。また、たとえ飲みに行っても飲み比べをしていないと、市警にあるコンピューターを思い通りに使えなくなってしまう。コンピューターのIDはラッセンが持っているのだが、つき合いが悪いと嫌がらせをされてしまうわけだ。

ここでは、ラッセンとの飲み比べに勝ち、コンピューターを自由に使える状態を前提として話をしていくぞ。まず、最初に確認しておきたいのが11月10日の夜にキャサリンの従姉からかかってきた電話の内容。これはちゃんと覚えておこう。彼女の名はシンディ・ホワイトで、精神科医をしているのだ。なんでもキャサリンのことで話したいことがあるらしく、11日の午後4時にホワイト・クリニックに来てくれという。これは絶対に捜査の手がかりになるはずだから、忘れずに訪れるようにしないとね。

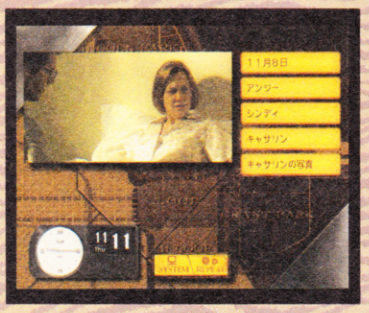
それでは、捜査の第1段階ということで、検死報告書などの確認から始めよう。コンピューターに登録されているデータを見ると、アンジーの着ていた服が、高級ブランドBRカンパニーのものであることや、コカインを所持していたはずのキャサリンの遺体からはコカイン反応がないこと、などがわかるはずだ。まずはこれらのことを手がかりにして、関係者への聞き込みを行なうべし。捜査序盤では、以下に挙げる12ヵ所へ行くことができるので、どんなに細かいことでもいいから情報を集めよう。すべての事実がつながったとき、事件は解決へ向かうのだ。

ハート家

殺されたアンジーの実家。父親のジェームスと母親のメラニーが住んでいる。聞き込みをしても何か隠し事をしているようで、なかなか手がかりがつかめないかもしれないが、アンジーの使っていた部屋などもよく調べてみよう。彼女の過去にまつわる証拠品が見つかるはずだ。また、この両親の過去も事件に絡んでくる。



▲父親のジェームス・ハート。アンジーを殺害した凶器は、彼のものだと判明する。



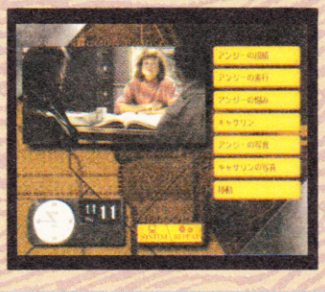
▲母親のメラニー・ハート。アンジーの父親は、実はジェームスではないらしいのだが……。

ヘイズ夫人の家

どこにでもいそうな噂好きのオバサン。ハート家の隣に住んでいるので、家族の様子やら事件当日のことなどを聞いてみるといいかもしれない。真に受けるのは禁物だが。

サウスセント高校

アンジーが通っていた高校で、担任だったメアリー・セイヤーから、アンジーについての話を聞くことができる。どうやら友達は少なかったようだが、事件の手がかりは……。



ミシガン・ジャナール

ジェームス・ハートが働いている場所。彼の部下であるリチャード・デクスターから、ジェームスがナイフコレクターだということを聞き出せるが、殺害の凶器との関係は?

BRカンパニー

殺されたアンジーが着ていた服は、このBRカンパニーブランドのもの。社長はブライス・リッチ。捜査中、彼とアンジーが事件当日に一緒にいた、というタレコミが入り、事実確認に行くも全面的に否定される。捜査自体に対しても非協力的だ。しかし、彼を取り巻く人物からの証言や、これまでに3回も脱税の調査を受けているという事実が判明するあたりから、彼の立場は悪化する。彼を追い詰められるか否かは捜査次第ということになるけどね。また、彼と意外な人物とのつながりも明きらかになってくるぞ。

↑事件当日、アンジーと一緒に車に乗っているところを目撃されているリッチ。本人は事実を否定しているが、ジュリアやペイジの証言から3時間の空白が明かるみになる。その時間、彼はどこで何をしていたのだろうか。

ザ・ハイト

BR カンパニーのイメージモデルである、ジュリア・フォートシスが住んでいるところ。彼女はビューティー・エリートに所属しており、リッチとの関係も深い。有力な情報源だ。

ビューティー・ヴォーグ

ジュリアが所属するモデルクラブ。ここでは、副社長のペイジ・マシャノンから話を聞くことができる。彼女は、雑誌に載った写真を見て、アンジーにスカウトの声をかけていた。

ホワイト・クリニック

キャサリンの従姉であるシンディ・ホワイトが経営する精神病院。11日の午後4時から、彼女と話をすることになっている。ここで、意外な事実が明きらかになるぞ。

バー・アゲイン

10日の夜に、ラッセンと酒を飲んだ場所。11日以降も、午後6時を過ぎれば行くことができる。事件関係者がいることもあり、思いがけない情報が手に入るかも？

アドラー天文台

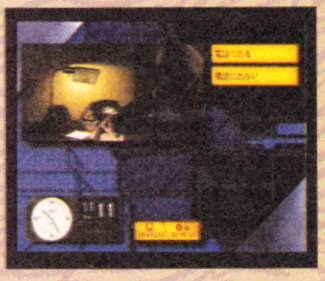
アンジー・ハートとキャサリン・ホワイトの遺体が発見されたところ。売店の店員は、事件当日、この場所でアンジーを見かけたという。また、怪しげなメモも拾っている。

シカゴ市警

1日の捜査はここから開始され、その日の捜査状況をまとめるのもここだ。鑑識課に、証拠品を預けるのを忘れないようにしよう。コンピューターもこまめに使うこと。

ホテル・シカゴ

J.Bが宿泊しているホテル。1日の捜査が終わったら、ここに戻り明日に備えるというわけだ。リバティタウン警察から電話がかかってくるときもあるぞ。



J.B.ハロルドシリーズの歴史

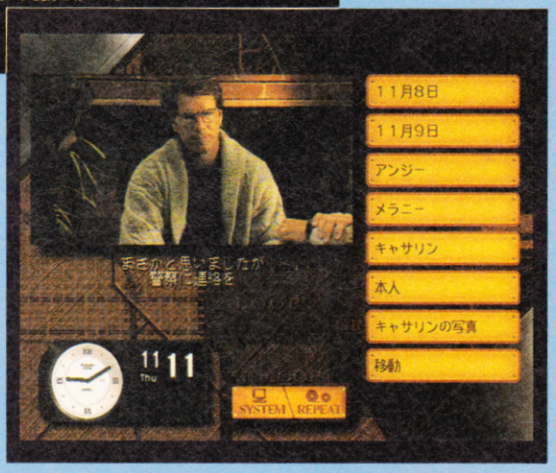
J.B.ハロルドシリーズが初めて産声をあげたのは、今からおよそ9年前の1986年のことである。この記念すべき第1作というのが、古いユーザーならば名前を聞いただけで懐かしい気持ちになってしまう、あの『殺人倶楽部』なのだ。この『殺人倶楽部』で、リバーヒルソフトは初めてログインの取材を受けたのだそうで、そのときにログイン側でインタビューをした人物というのが、現在、ログインの伝説になっている小島編集チョだったりする。今さらここでクドクド説明するまでもないのだが、つまり、それくらいリバーヒルソフトとJ.Bシリーズには歴史があるってことなのだな。

ここまで付録を読んだ人の中には、『B.C.B.』以前のJ.Bシリーズのことを知りたくなった人がいるに違いない。そこで、このページではJ.B.ハロルドシリーズの歴史と銘打って、これまでに発売されたJ.Bシリーズの4作品を紹介してみよう!!

前作と雰囲気を比べてみよう!!

⬅➡左が前作の『D.C.コネクション』で、下が『B.C.B.』。CGと実写の違いもあるが、全体的なクオリティーが上がったように見える。

なお、前作にあたる『D.C.コネクション』と、3作目の『マンハッタン・レクイエム』については、アスキーのディスク&ブックシリーズでも発売されているので、過去のJ.Bに興味が湧いた人は、ぜひ購入してプレーすることをオススメする。



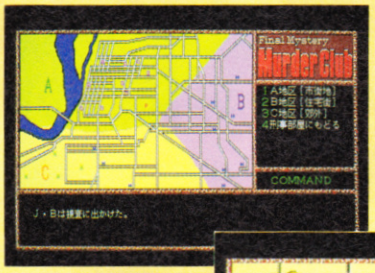
殺人倶楽部(マーダークラブDX)

1986年

若き実業家ビル・ロビンズが、物言わぬ哀れな姿で発見された……。という導入部で始まるのが、J.B.ハロルドの事件簿シリーズ第1弾として登場した、『殺人倶楽部』である。

アメリカの架空の街、リバティタウンで起きたビル・ロビンズ殺害事件を、リバティタウン警察の殺人課に所属する腕利き刑事、J.B.ハロルドが解決するというのがストーリー。地道な聞き込み捜査によって、隠された犯人像を暴き出すというのがゲーム目的だが、渋センのグラフィックと本格的なストーリーは、当時、多くのユーザーを魅了してやまなかったのである。

ちなみに、このあとリバーヒルソフトは『殺人倶楽部』のグラフィックやサウンドをリニューアルした、『マーダークラブDX』というのを発売している。こちらはバイリンガル仕様で、X68000やFM TOWNSにも移植され、好評を博したとのこと。



J.B.ハロルド登場!! J.Bシリーズの記念すべき第1作

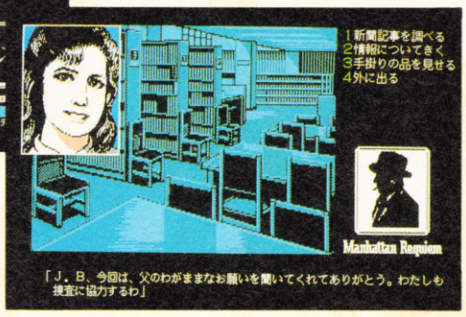
⬆➡懐かしさがこみ上げる第1作。これがゲーム界に新境地を開いたのだ。

マンハッタン・レクイエム ～闇に翔ぶ天使たち～ 1987年

喧噪に満ちたマンハッタンの街を舞台に、"サラ・シールズ"という3人の同名の被害者の死の謎を追う。それが、J.B.ハロルドシリーズの第2弾となる『マンハッタン・レクイエム』なのだ。

発売当時、業界でもきわめて珍しいと言われた現地ロケをリバーヒルソフトは敢行。その結果、臨場感あふれるグラフィックと洗練されたストーリーに、ユーザーは第1作のとき以上に魅了されることになるのであった。

J.Bシリーズがこのあとも続くようになったのは、この『マンハッタン・レクイエム』が売れたおかげとは、リバーヒルソフトの鈴木専務の弁。



⬅➡業界でも珍しい、"現地ロケ"を敢行したシリーズ第2作。J.Bの推理アドベンチャーとしての地位は、このゲームによった確立されたのだ。

アナザー・ストーリー・オブ・マンハッタン・レクイエム

殺意の接吻 ～KISS OF MURDER～ 1987年

第2作、『マンハッタン・レクイエム』のキャラクターや舞台設定などはそのままに、新しくストーリーだけを作ってみるのはどうだろう？　というコンセプトをもとに発売されたのが、このJ.B番外編の『殺意の接吻』である。

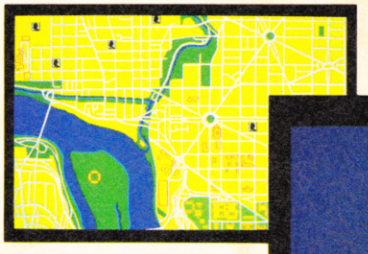
このゲームの被害者は、『マンハッタン・レクイエム』のほうでも被害者役だったサラ・シールズ(さすがにひとり)。前作と同じ舞台で、前作とはまったく違う人間関係を調べるという、まさにアナザーワールドを体験できた点が、『殺意の接吻』のひと味違ったところだったのだ。実に斬新な試みだったいえるだろう。

⬅➡『マンハッタン・レクイエム』のキャラクターと舞台設定を流用して、新たにストーリーが作られている。

D.C.コネクション ～愛と死の迷路～ 1989年

世界を動かすアメリカの首都、ワシントンD.C.で、リバティタウンの警察署長、ウォルター・エドワーズが殺害された。しかも、そのエドワーズ殺害の犯人は、エドワーズの長男であるフレデリック・エドワーズだというのだ。麻薬、テロなどさまざまな事件が複雑に入り組むワシントンD.C.において、事件の真相に挑むJ.B.ハロルドの周囲では第2、第3の殺人事件が次々と巻き起こされていく……。

そんな緊迫したストーリーが展開されるのが、J.Bシリーズの第4作、『D.C.コネクション』なのだ。すべての事件の鍵をにぎる人物を、はたしてハロルドは見つけることができるのか？



⬅➡事件の捜査中にも第2、第3の殺人が起きるなど、ストーリーの随所にプレーヤーを飽きさせないような工夫がされていた点が秀逸だった作品。

ここが知りたい!!『B.C.B.』誕生まで

J.Bの生みの親、鈴木専務に直撃!!

ログイン　まずは6年ぶりのJ.Bシリーズ復活、おめでとうございます。

鈴木理香さん(以下、鈴木)　どうも、ありがとうございます。

ログイン　しかし、今年がJ.Bシリーズの誕生10周年になるんですね。

鈴木　第1作の『殺人倶楽部』が1986年の発売になりますから、改めて考えると、本当に長い時間が経ったんだなぁ、という気がします。

ログイン　1986年ですか。今のログインの主軸となる読者は14歳から17歳ですから、第1作が出たころは読者はまだ小学生だったことになりますね。

鈴木　それだけ長い間、多くのユーザーの方々から支持をいただくことができたおかげで、今回、第5弾を発売することができたというわけなんです。

ログイン　ということは、『B.C.B.』の発売が決まるまでの間も、前シリーズは売れていたということですか？

鈴木　さすがに第1作の『殺人倶楽部』は完全な在庫切れですが、第2作から第4作などは、たまにご注文いただくことがあったんですよ。

ログイン　まさにロングセラーですね。

鈴木　私どもが10年前に第1作を出したとき、ここまで支持をいただけるとは思っていませんでしたから、正直な話、今でも驚いています。

『B.C.B.』の制作その誕生秘話など

ログイン　現在の若いログイン読者の中には、鈴木さんがどういう方なのか知らない人も多いと思うんですよ。今回、鈴木さんが『B.C.B.』の制作でなさった仕事というのを、ちょっとここで教えていただけませんか？

鈴木　制作プロデュース的な仕事です。

ログイン　では、前作までのように原作はやられなかったんですか？

鈴木　いえ、原作もやりました。原作もやったうえで、ゲームのイメージを固めたというのが実情です。

ログイン　うーん、それではずいぶん大変だったのではないですか？

鈴木　でも、ゲームを作っている間は本当に楽しかったですから、それほど苦にはならなかったんですよ。

ログイン　至言ですね。編集部のみんなにも聞かせたいですよ(笑)。

鈴木　あら、そうなんですか(笑)？

専務取締役　鈴木理香

ログイン　ところで、今度が第5弾となる『B.C.B.』は、今までのJ.Bと違ってCGではなく実写となっていますが、なぜ実写にしたのですか？

鈴木　晴れて10周年を迎えるJ.Bシリーズが、ありきたりな復活の仕方だとつまらないですから……。

ログイン　なるほど。確かにここまで凝った作りのゲームというのは、見たことがありませんからね。わざわざ現地ロケを敢行したということですし。

鈴木　ロケ自体は、前作以前でもやっていたんですよ。ただ、今回はさらにもう一歩踏み込んで、ハリウッドの若手俳優を起用し、映画が1本できるくらいの映像を撮った点は、我ながらよくやったものだという気がします(笑)。

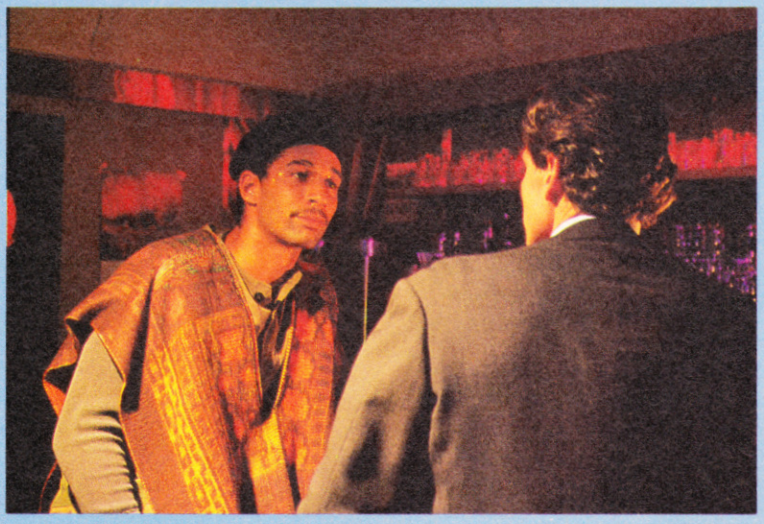
ログイン　以前いただいたスチール写真(この見開き2ページの写真を参照)を見ても、そのへんのこだわりというのはうかがえますからね。

鈴木　ありがとうございます。

ログイン　また話は変わりますけど、『B.C.B.』をキュウハチベースではなく、ウィンドウズで発売する理由については、どうなのでしょうか？

鈴木　ウィンドウズが世界標準であることを、ユーザーの方々がハッキリと認識している現在、ほかのメーカーよりも先に名の通ったゲームを出せば、今後の展開が有利になるかな、と。

ログイン　パソコン業界の先を見すえたうえでの"決断"ということですね？



鈴木　実際は、ただ単にほかのメーカーさんがなされていないことを、やってみたかっただけなんですけどね(笑)。

ログイン　しかし、ほかのメーカーさんが手を出していない分野に進出しようとするチャレンジャースピリットは、十分すごいと思います。

鈴木　そういう風に言っていただけると、非常に心強く思います。

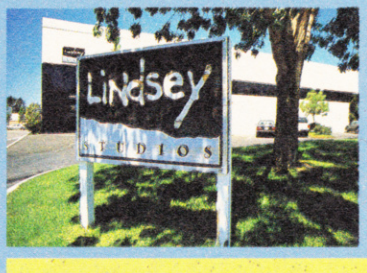
ログイン　ウィンドウズによる開発は、苦労も多かったのではないですか？

鈴木　それは多かったですよ。キュウハチでの開発のときは、開発環境がすでに成熟していましたから、制作もスムーズに進んだものでした。その点、今回は開発環境がまだまだ発展途上の状態でしたからね……。

ログイン　またすぐにウィンドウズ95が登場するという話ですけど……。

鈴木　そのへんは大丈夫です。皆さまにご心配をおかけすることがないように、『B.C.B.』はウィンドウズ95にも対応させていますので(笑)。

ログイン　それは素晴らしいですね。



リバーヒルソフトの今後の展望など

ログイン　『B.C.B.』をウィンドウズで発売するということは、当然、今後は海外のPC市場も狙っていくということになりますよね？

鈴木　もちろんです。アメリカ市場に食い込みたいと考えておりますし、できれば韓国や台湾といったアジア市場にも手を広げたいと思っております。

ログイン　これからの日本の市場は、PCの台頭によって大きく揺れ動くと思うのですが、その点、海外で通用する手駒(『B.C.B.』)をお持ちになっているだけに、それだけ強そうですね。

鈴木　いえいえ、たしかに今はPC市場が有望そうですけど、これから先の動きなんて、完全には読めませんよ。

ログイン　最後になりますが、パソコンゲームとしてのJ.Bシリーズは、今後も登場するでしょうか？

鈴木　おそらく出せると思います。

ログイン　〝おそらく〟と言うのは？

鈴木　『B.C.B.』が売れてくれれば、という、前提が必要になるもので(笑)。J.Bはもともとパソコンの世界から生まれたものですから、やはりパソコンから切り離したくはありませんね。

J.B.ハロルドシリーズ　発売10周年感謝キャンペーン

現在リバーヒルソフトでは、J.B.ハロルドシリーズの誕生10周年を記念して、右で紹介しているようなプレゼントキャンペーンを行なっている。基本的に誰でも応募は可能なので、官製はがきに下の〝ブルー・○○○・ブルース〟の〝○○○〟に入る言葉と、郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号、所有するパソコンか家庭用ゲーム機の名前、希望賞品(AかB)を明記して下記の住所に送れば、チャンスをつかめるかもしれないぞ。

あて先
〒810
福岡市中央区大手門1-1-12
大手門パインビル6階
株式会社リバーヒルソフト
『10周年感謝キャンペーン』係

A賞　アメリカ～シカゴ・ロサンゼルスの旅

5組
10名様

⬅これが、当選者が招待されるシカゴである。特に応募資格は設けられていないので、みんなガンガン応募しよう。また、この機会にJ.Bシリーズのパッケージをデザインしたテレホンカードを手に入れると、カッコいいかもね。

B賞　J.Bテレホンカードセット

100名様

クイズ　ブルー・○○○・ブルース

J.B.HAROLD

BLUE CHICAGO BLUES

ブルー・シカゴ・ブルース

事件解決への道しるべ

LOGIN 13号特別付録

平成7年7月7日発行(毎月2回第1、第3金曜日発行)第14巻　第13号　通巻214号

DESIGN/MOON DOG FACTORY

Printed in japan